

⑨ 快適な住環境の創出

都心居住から田園居住まで、本市の魅力ある住環境づくりを進めます。

新潟市は、他の政令指定都市に類を見ない程の広大な田園風景や、みなとまちとしての文化など、豊かな環境に恵まれています。その様な地域それぞれの特色と魅力に溢れ、市民一人ひとりが心から自分が住む地域に愛着や誇りを感じ、生涯に渡って住み続けたいと思える住環境づくりを目指します。

特性を活かし多様な暮らしかたに応える、

一世帯当たり建物延べ面積 107.0m²
持家世帯比率 65%

H17年国勢調査

共通テーマ

- 生活圏域の充実
- コミュニティの形成
- 歩いて暮らせるまちなか

都心

都心居住の促進

- 市民や民間事業者などの主体的活動の誘導・支援を通して、都心及び市街地における、利便性が高く周囲の環境と調和した住宅の供給を進め、中心市街地の賑わいの形成を図ります。



市街地

良好な市街地形成の促進

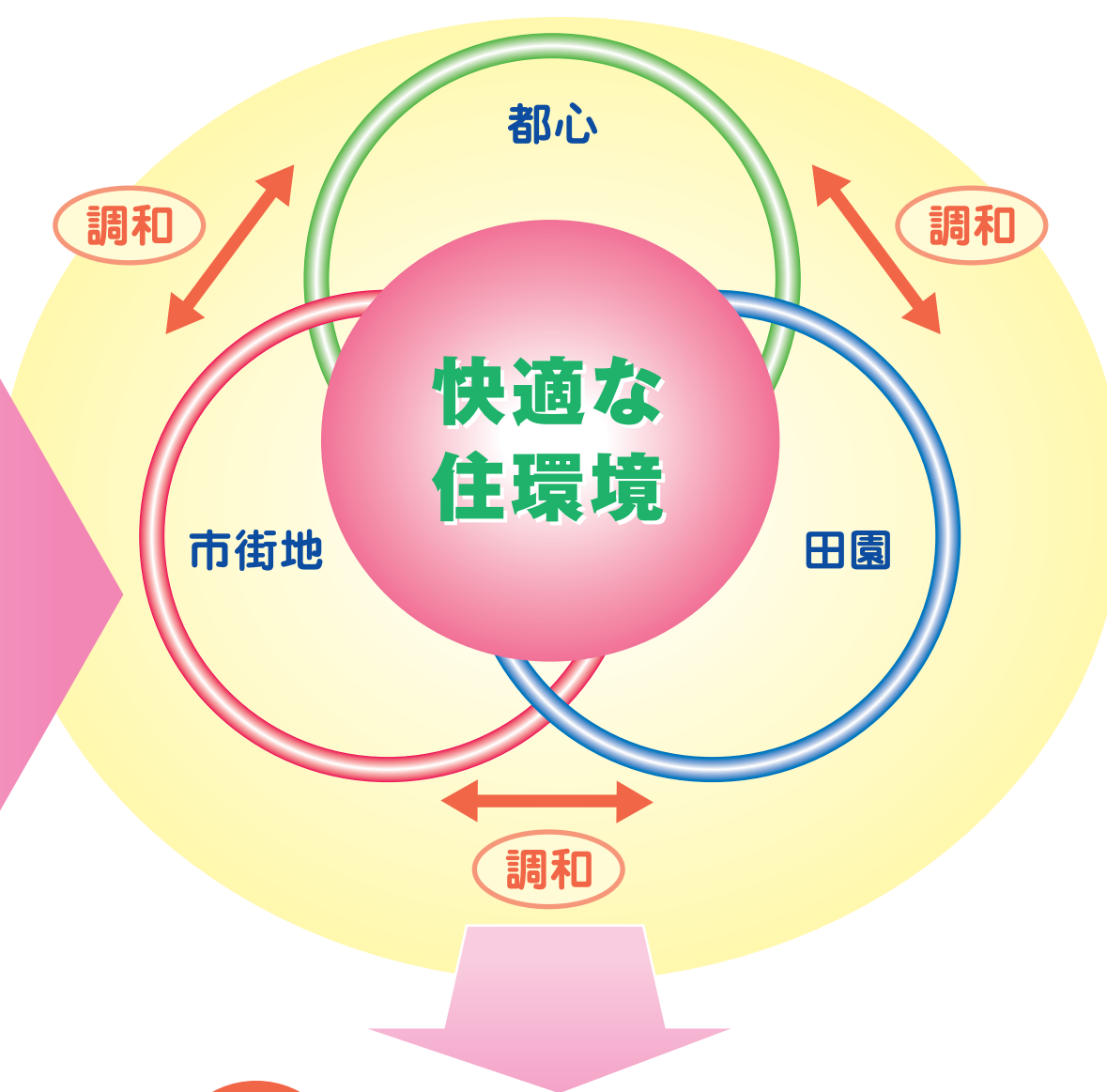
- 地域特性を踏まえた良好な市街地づくりに向けた制度や条例を制定します。



田園

田園集落の活性化

- 農村ならではの魅力を活かした住環境整備や、地域コミュニティ形成による定住人口確保を進め、農村地域の活性化を図ります。



H26
の目標

地域の特色と魅力に溢れ、安心して住み続けたい、
にいがた住まいづくりを目指します

10 公共交通の充実

市民が快適に移動できる交通利便都市

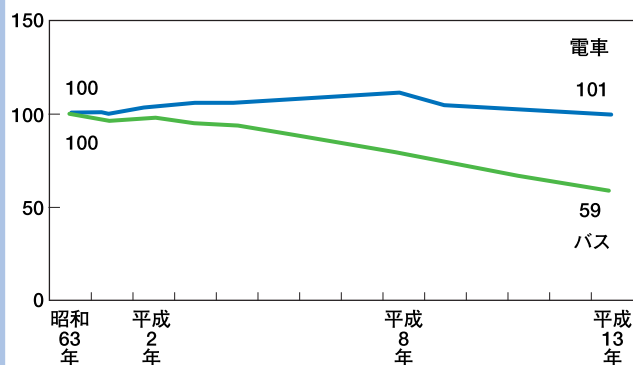
自動車は便利、だけど車だけでは…

- 繰り返される道路整備と交通渋滞
- 採算のとれないバス路線などの廃止
- 地域差が拡大する公共交通の利便性
- 車に乗れない人の移動の困難性
- 環境負荷の増大、エネルギー損失

基幹公共交通軸などの充実

自動車交通と公共交通の適切な利用を図り、公共交通の利便性を向上させるため、オムニバスタウン計画(バスの利便性向上によるまちづくり)を交通事業者とともに推進します。

減り続ける公共交通の利用者



※昭和63年を100とした場合の利用者数の推移(指数)
※資料: 東日本旅客鉄道株式会社, 新潟交通株式会社



パークアンドライド駐車場



人と環境に優しいバスシステムのイメージ

- 基幹バスによる新たな基幹公共交通軸の強化
- 市役所周辺のミニバスターミナル化
- バス停環境の改善
- バスレーンの導入検討
- パークアンドライド, ETC専用ICを活用したバスの社会実験ほか
- 鉄道や高速バス網との連携強化

を実現します。

- 賑わいのある都市空間形成を図るため、魅力的な基幹公共交通軸の確立に取り組みます。
- また、すべての人が都市内を快適に移動できるよう生活に密着した公共交通の確保を図り、地域の実情やニーズにあった快適なバス交通を目指します。

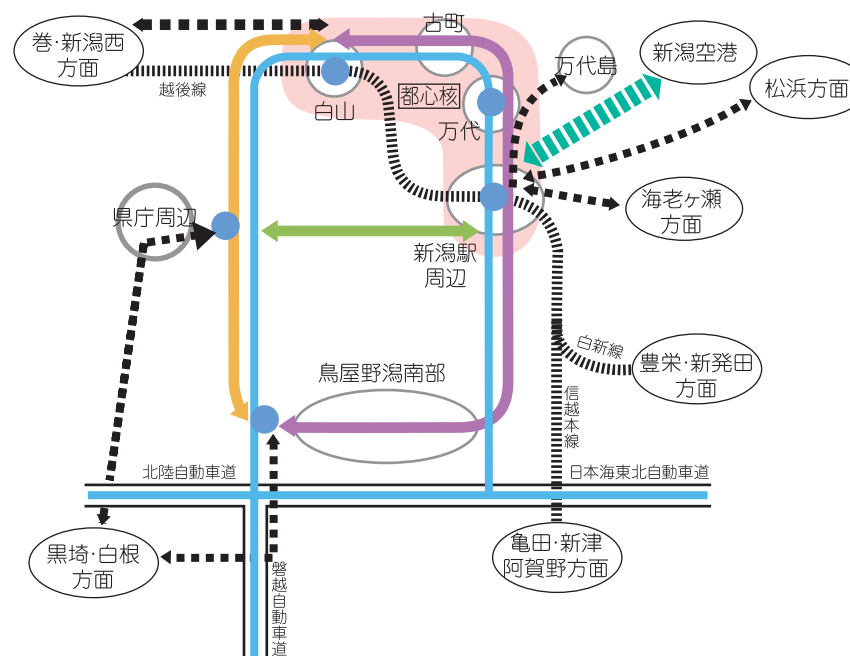
生活交通の確保

市民の生活に必要な路線バスの運行を確保します。

- 路線バス運行費補助
- 区バス運行委託
- 住民バス支援



基幹公共交通軸と交通結節点



H26
の目標

公共交通の
利便性向上

指標

- 自動車分担率(人の移動手段のうち自動車占める割合)の減少を目指します。(H14年度 69.6% 第3回パーソナルリップ調査より)
- バス利用者の減少に歯止めをかけます。

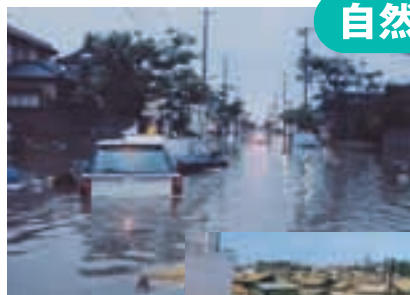
11 安全なくらしの確保

日々の不安のない，安心なくらしを 実現します。

日々のさまざまな不安



火災



自然災害



危機事象

犯罪



危機管理対策の充実

テロ・感染症など市民生活に重大な被害や不安を与える危機事象に際し，迅速で的確な対応を図ります。



災害応急対策の充実

危機管理防災センター（仮称）を整備するほか，電気・ガス等の関係機関と連携したライフラインの確保に努めます。



水害対策の強化

信濃川，阿賀野川，中ノ口川などの河川改修や，雨水管渠やポンプ場等の下水道整備により，雨水排除能力を強化します。



消防活動体制の充実・強化

高度資機材と精鋭隊員を配備した特別高度救助隊の配置など，機動力ある消防活動体制の充実・強化を図ります。



犯罪の防止

地域，行政機関，警察の協働を強めて犯罪の減少を目指すとともに，子どもの安全対策を進めます。



H26
の目標

被害を極限まで最小化

指標

自主防災組織（※）結成率

現在 50%

H26 80%

※自主防災組織
「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という自助の精神に基づき，自治会や町内会などを単位として，地域の防災活動の拠点として結成されるもの。

12 健康と福祉のまちづくり

生涯健康でいきいき暮らせるまち“新潟”

を目指します。



現状

社会経済情勢の変化 ライフスタイルの変化

- 食を大切にする心の欠如
- 「食」の安全上の問題発生
- 「食」の海外依存
- 伝統ある食文化の喪失
- 食生活の乱れ
- 肥満者、生活習慣病の有病者の増加
- 過度の痩身志向
- 寝たきりなど要介護者の増加
- 運動不足
- ストレスをうまくコントロールできない人の増加



食育の推進

食環境の整備

- 食に関する団体などとの連携



子どもの健全な成長を図る食育の推進

- 家庭と連携した正しい食習慣の習得や食に関する指導

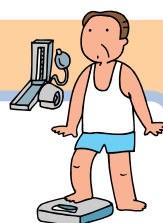
郷土の食文化や農業への理解を深める食育の推進

- 学校給食の地場農産物の利用拡大
- 食に関する指導
- 郷土の食文化や農業への理解を深める取組

健康づくりの推進

生活習慣病予防の推進

- 生活習慣病健診やがん検診など年代に応じた健康的な生活習慣の確立の支援



介護予防の推進

- 高齢者の心身の健康の保持や生きがいづくりと社会参加の促進



地区組織活動による健康づくりの推進

- 健康づくりを支援するボランティアの育成
- 地区組織などと連携した健康づくり活動の推進

生活習慣の改善

食生活の改善

介護サービス基盤の整備

- グループホーム、小規模多機能型施設の建設支援

(障がいのある人の) 地域生活の支援

- 相談体制の強化
- 手話通訳者の設置

(障がいのある人の) 雇用促進と就労支援

- 小規模作業所の運営補助

地域保健福祉の充実

H26の目標

市民一人ひとりが生涯健康で安心して暮らせるまちを目指します。

指標

- 意識的に体を動かす人の割合
現況 → H23年度末男性 42.1% → H26年度末 63.0%以上
- 朝食を欠食する人の割合
現況 → H23年度末20歳代男性 31.2% → H26年度末 15.0%以下

13 子育て環境の整備

少子化時代に対応した、安心して

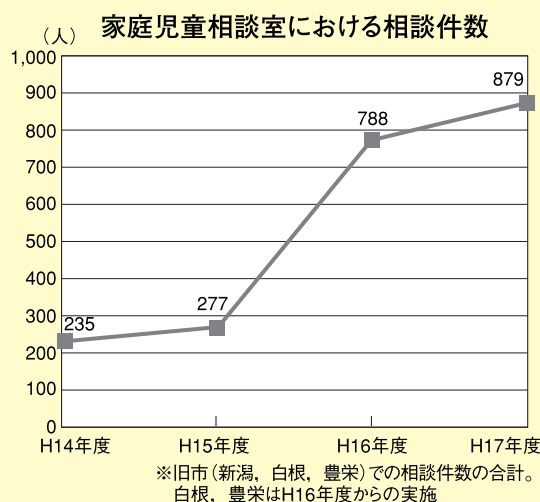
子どもたちが健康でいきいきと暮らせ、将来にわたり新潟に住むことに誇りと夢を持って成長できるよう「すこやか未来アクションプラン」を社会全体で推進し、全ての子育て家庭に対する子育て支援を進めます。

子どもを生み育てられるまちを実現します。

現状

- 子育て支援に対する市民の重要度は高いものの、満足度は低い状況にあり、よりニーズを的確に把握して取り組む必要があります。
- 行政はもとより、家庭や地域、企業などが連携し社会全体で子育て支援に取り組む必要があります。

- 子育て支援の重要性
～新潟市市民満足度調査結果(H18.9)より～
- 取り組み別の満足度スコア比較
84 子育て支援の充実 スコア2.825
74番目/調査項目95項目
満足度スコアの全体平均(2.933)
- 取り組み別の重要度スコア比較
84 子育て支援の充実 スコア4.448
5番目/調査項目95項目
1位 救急体制の強化
2位 充実した医療の確保
3位 廃棄物の減量・リサイクルの推進
4位 高齢者の生活支援
5位 子育て支援の充実
重要度スコアの全体平均(3.918)



多様な保育サービスの充実

- さまざまな保育ニーズに対応するため、延長保育や病児デイサービスの充実を図るとともに、育児相談や一時保育の実施など、すべての子育て家庭への支援に取り組めます。

- そのほか具体的な子育て支援
- 安心して妊娠・出産できる環境づくり…相談、特定不妊治療費助成
 - 多様な保育サービス…延長保育、病児デイサービス
 - 安心して過ごせる子どもの居場所…放課後児童クラブ、児童館・児童センター
 - 地域で支える子育て…市民委員会など市民との協働による子育て支援

子どもに関する相談体制の充実

- 発育、児童虐待、非行、ひきこもりなど、子どもに関する幅広い相談に対応するため、新たに児童相談所を設置し、家庭、学校、地域などとの連携による、見守り・指導から措置に至る一貫した対応が可能な体制を整備します。

保護者や地域と連携した安全対策の推進

- 学校内や通学路における子どもの安全対策や防犯強化を、保護者や地域住民との連携、警察など関係機関との連携を強化して推進します。

- 具体的な取り組み
- セーフティスタッフの配置など

- 見守り、関わり、つながりの輪を広げる
- 交流の機会や場をつくる

- 基本的な生活習慣を身に付ける
- 子どもと共に家庭も成長

- 基礎的な学力を身に付ける
- 個性を尊重する
- 地域に開かれた学校に



- 子育てしやすい職場環境づくり
- 地域貢献

- ニーズに応じた支援
- 総合的な調整

H26の目標

子どもの育ちや子育てをしっかりと応援する環境づくりを進めます。

指標

子育て支援の充実に関する市民満足度
現況 → H26年度末
2.825 3.100

休日保育の実施園数
現況 → H26年度末
3園 11園

発達障害支援センターの設置
現況 → H26年度末
未整備 整備